

◎交通安全施設整備の経費

放置自転車防止事業	【	交通政策課	】
-----------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【事業の内容】

(1) 放置自転車防止事業

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告を、また、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・ 保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分業務を委託した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理業務及び自転車等保管場所の警備業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

駐輪場の防犯対策(5-1-7-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,138	55,213	53,821		1,392
主な支出内訳				
・ 放置自転車防止事業				
放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人				8,570
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
鎌倉駅周辺等放置自転車等防止対策業務委託料				12,914
大船駅周辺等放置自転車等防止対策業務委託料				25,676
放置自転車等保管場所警備業務委託料				510
放置自転車等廃棄処分業務委託料				168
防犯照明灯設置業務委託料				0
駐輪場土地賃借料				2,380
主な特定財源				
・ 国県支出金				10,064

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・鎌倉駅・大船駅周辺等の自転車等放置禁止区域における放置自転車は減少傾向にあるが、監視等業務を継続して放置自転車対策に取り組む必要がある。 ・大船駅西口周辺の契約待機者解消のため、仮設の駐輪場等の対応を行ってきたが、待機者の増加に対応できていない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・放置自転車等防止対策業務における監視活動、駐輪場への誘導業務の強化や、放置しづらい環境づくりとしてフラワーポットの設置を行った。 ・大船駅西口の駐輪場設置に向け、関係者との調整を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・鎌倉駅西口及び大船駅西口における待機者を解消する。 * 駐輪場契約待機者数 平成20年3月末 301人⇒平成21年3月末262人(鎌倉駅西口) 平成20年3月末1021人⇒平成21年3月末972人(大船駅西口)
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・鎌倉駅西口については、引き続き、東日本旅客鉄道株式会社との調整を行う。 ・大船駅西口では、引き続き、新規駐輪場開設に向けて協議・調整を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	・大船駅西口の待機者数解消のため新規駐輪場の開設・既存駐輪場の改修を進める。 ・江ノ島電鉄、湘南モノレール沿線での放置自転車防止対策の強化を行う。 ・安全な歩行空間を確保するために、監視・警告・移動業務、放置しづらい環境づくりを継続する。		
担当課長氏名:	交通政策課長 高橋 一也		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	・駐輪場整備は、市民ニーズを把握し、適切かつ効率的な整備を進める。		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋